

目 次

人間自然科学研究所 活動紹介 No1

人間自然科学研究所年表 / 「和の文化」創造をめざして	1
人間自然科学研究所の歴史写真資料	
1990 年～	4
2002 年～	6
2005 年～	10
2010 年～ 2016 年	18
新聞記事紹介	38

人間自然科学研究所の歴史

1988 年 4 月	若手経営者 20 名で「知革塾」開塾		
1994 年 4 月	人間自然科学研究所設立。郷土の偉人を顕彰する出版活動を中心とする「一村一志」運動開始	12 月	第 6 回国際平和博物館会議、京都・広島開催協賛、松江で「出雲和議フォーラム」
11 月	「第一回神在月縁結び世界大会」開催	2009 年 2 月	平和発信のフォートレス 沖縄研修道場視察 沖縄
1995 年 4 月	「周藤彌兵衛シンポジウム」開催		中日韓英 4 カ国対訳 中国古典名言録、竹島＝独島問題入門、出版記念講演「混迷の時代 出雲から陽が昇る」開催
6 月	「人と水と食のシンポジウム」開催	9 月	ロシア・ウラジオストック、ハバロフスクの第二次
1996 年 9 月	中海・本庄工区の未来構想シンポジウム開催		世界大戦慰霊碑を訪問・献花
11 月	ダイヤモンド社より「母なる中海」出版	2010 年 2 月	日本海＝東海を囲む朝鮮・韓国・日本から世界へ平和をシンポジウムに協賛
1997 年 3 月	「第二回神在月縁結び世界大会」開催		
6 月	韓国独立記念館訪問、日本人として初めて献花、寄付	6 月	安重根義士遺墨「獨立」日本初公開 金容雲・日韓併合 100 周年記念講演大学教授
1998 年 7 月	大韓赤十字社を通じ朝鮮民主主義人民共和国へ食糧支援	7 月	小松電機産業株式会社ソウル支社開所式、門番 G シリーズ発表会 韓国語版「治水の偉人伝」漫画出版記念式典
1999 年 7 月	「太陽の国 IZUMO」出版		
10 月	「第三回縁結び世界大会」開催	2011 年 2 月	松江市にて開催の将棋第 60 期王将戦を支援
2001 年 5 月	中国人民抗日戦争記念館訪問、献花	10 月	「朝鮮半島と日本列島の使命」発刊
2002 年 2 月	日中英 3 カ国対訳「論語」出版	2012 年 7 月	アジア太平洋平和研究学会で、小松理事長講演 韓国の月刊誌「市民時代」に「真の愛国者」として特集される
8 月	「治水の偉人・大楯七兵衛」小説・漫画・児童文学出版「出雲三兵衛」完成		
9 月	中国山東省棗荘・台児荘大戦記念館で、中国側 3000 人、日本側 40 人で孔子、孟子、周藤彌兵衛翁、清原太兵衛翁の銅像完成出発式	11 月	国際マンガサミット鳥取大会にて、漫画、周藤彌兵衛、清原太兵衛、大楯七兵衛を展示
2003 年 10 月	日本最大の中国庭園「燕趙園」に孔子・孟子像を建立	2013 年 8 月	出雲から陽が昇るシンポジウムに元慰安婦の李容洙さんと弁護士会平和節団が来県
2004 年 10 月	「太陽の國」推進シンポジウムを開催	9 月	オランダ・ハーグ市「カーネギー平和宮 100 周年」記念事業として、小松理事長が「世界平和事業家 20 人」に選ばれる
2005 年 5 月	韓国西大門刑務所歴史館・獄舎跡訪問・献花		
9 月	中国南京記念館を訪問、献花。中国中央電視台ニュースで 3 回にわたって全国放送。在日本中国大使館ホームページに掲載された。	2014 年 6 月	ベルタ・フォン・ズットナーの記念事業に取組み、平和大賞をウィーン平和ミュージアムより受賞
12 月	ハワイ「アリゾナ記念館」真珠湾攻撃記念式出席、献花	8 月	松江市八雲町に周藤彌兵衛翁像除幕
2006 年 3 月	燕趙園に西王母と八仙人大理石像を紹介建立	11 月	くにびきメッセ国際会議場でイングリッド・ロレマ氏をオランダから迎えて八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催
3 月	「平和環境健康特別区申請 特別シンポジウム」くにびきメッセで開催	2015 年 5 月	韓国日本大使館前慰安婦像
7 月	韓国木曜学会が発行する月刊市民時代に取材記事が掲載		「日英対訳 悠久の河 周藤彌兵衛翁物語」を出版
10 月	小松理事長、釜山市庁国際会議場で講演	6 月	八雲志人館から「ゆう科学通信」を発行
11 月	出雲大社で「神有月 和議平和フォーラム」開催	7 月	光復 70 周年記念作業市民委員会に参加
2007 年 3 月	燕趙園に孫子像を建立	8 月	周藤彌兵衛翁像建立 1 周年記念「水と火の祭」を開催
3 月	韓国安重根義士殉国記念式典参列・明成皇后生誕地・陵墓訪問	8 月	三和書籍より『天略』早川和宏著、『島根核発電所』山本謙著を出版
6 月	中国海南島強制労働跡地訪問	11 月	八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウムを開催
11 月	オウトピア構想の拠点 慶熙大学校 訪問	12 月	中国北京学苑出版社より『対立から共生へ』張可喜・魏亜玲共著を出版
12 月	南京大虐殺記念館改築式典招待出席	2016 年 1 月	オランダ・ハーグ ボーベンカーマルより「日英韓中独 5 カ国対訳 岩より水」フィーリックス・ピラヌーバ、イングリッド・ロレマ、マリアンヌ・クレイジュベグト、小松昭夫共著を出版
2008 年 2 月	私たちにとっての「ある小さな小さな島」の話 座談会開催		8 月 周藤彌兵衛翁像建立 2 周年記念 「水と火の祭」を開催
3 月	「なぜ出雲から世界平和か」座談会開催	11 月	悠久の河シンポジウムを開催
6 月	松江市にて「族譜」公演。小松理事長が主催団体会長に	12 月	『安重根裁判の不法性、再検討と北東平和』国際学術会へ参加／朴槿恵大統領弾劾 100 万人デモ視察
2008 年 10 月	第 6 回国際平和博物館会議協賛 「対立の文化から共生の文化へ」発表		

「和の文化」創造をめざして

世界は核拡散と情報通信革命が進むなか、金融混乱、エネルギー・資源危機などが重なり、展望が開けない状況に陥っています。自然環境も地球規模の大変動期の様相を帯び、人類社会をいかにして存続させるかという視点が求められています。

東アジアでは歴史的背景から、日本と朝鮮半島の間に竹島＝独島問題、慰安婦問題、日本海＝東海呼称問題など抑制された対立が続いています。こうした社会環境を背景に、今、朝鮮半島と日本列島に、人類の歴史上初めて、「和の文化」を生み出す平和の事業化を必要とする時代がめぐってきています。人類史のかつ世界的視野で現状を直視し、共感の場を生み出し、対立を統合・発展に導く循環が「和」であり、その手段が「和譲」です。

人間自然科学研究所は1988年、若手経営者が創業の地で集まった「知草塾」から始まり、20年以上にわたって生命の本質、人類の特性を踏まえ、「楽しく持続的に生きられる地球社会」への道筋を論理的に提案・実行する「シンクタンク&ドゥタンク」として活動してまいりました。対立のエネルギーを生かし、3大核大国（米国、中国、露国）の結節点である朝鮮半島と日本列島を核の空白地帯にし、世界の核削減の流れにつなげ、発酵の文化、先端科学、情報通信技術を組合せ、飛躍的な免疫力の向上につながる菌・発酵研究の先進地とし、世界人類の健康回復・増進に寄与することを提言しています。



1997年 韓国独立記念館にて、献花、寄付



2001年 中国人民抗日戦争記念館寄付



2005年 中国南京記念館を訪問、献花



2006年 韓国西大門刑務所歴史館・西大門獨立講演



2006年 神有月 和譲平和フォーラム



2007年 安重根義士追念式



2008 年 対立の文化から共生の文化へシンポジウム開催



2010 年 朝鮮・韓国・日本から世界へ平和を



2010 年 韓国ソウル支社設立 韓国語版出雲三兵衛漫画出版



2013 年 元慰安婦・李容洙さんを迎えて、出雲から陽が昇るシンポジウム開催



2014 年 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム



2014 年 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム



2014 年 周藤彌兵衛翁像除幕



2015 年 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム

1990 年 10 月 韓国企業と業務提携 シートシャッターを販売

1992 年 2 月 日韓首脳会談を受けて韓国企業への技術無償提供を、 ニュービジネス大賞受賞記念で発表

1992 年 1 月に宮沢首相が訪韓、盧泰愚大統領と会談、従軍慰安婦問題に対する謝罪、さらに積極的な技術移転等に取り組むことを約束した。

消極的な日本企業が多い中で、韓国企業東友技研へ日本で 2 番目にニュービジネス大賞を受賞した地球温暖化防止に大きな役割を果たす技術の無償供与を、その受賞披露パーティーで発表した。



1990 年 10 月 ホテル一畑にて調印式



韓国企業との業務提携 1990.10



日韓首脳会談 1992.1



韓国企業に技術無償提供 1992.2

1997 年 6 月 韓国独立記念館訪問・献花・寄贈

小松理事長は視察団を結成、韓国独立記念館を訪問し、日本人として初めて献花並びに寄付。



1998 年 7 月 大韓赤十字社に朝鮮への食料支援 2005 年 1 月 日本赤十字社に朝鮮への救援金



1998 年 7 月に鄭周永現代財閥創業者が、牛 501 頭を朝鮮民主主義人民共和国に寄贈されたニュースを聞き、大韓赤十字社・鄭元植総裁に朝鮮民主主義人民共和国へ食糧支援金を寄贈。

2002 年 9 月 中国棗莊 台兒莊大戰記念館 訪問・献花・寄附・銅像制作

棗莊・台兒莊は、米国から最新兵器を提供された国民党と共産党の国共合作の地で、陸軍松江第六三連隊が全滅した場所。

当研究所はこの地で孔子、孟子、郷土の治水の偉人・周藤弥兵衛翁、清原太兵衛翁の 4 体の銅像を製作。中国山東省政府の絶大なる支援により中国側 3000 名、日本側 40 名の参加者のもと、日本への銅像出発式が挙行された。



棗莊・台兒莊大戰記念館



銅像出発式と参加者



孔子像（左） 孟子像（右）



周藤弥兵衛像（左） 清原太兵衛像（右）

2003 年 10 月 鳥取県の中国庭園 燕趙園に孔子・孟子像建立

中国棗荘・台児荘で製作された孔子・孟子像は、鳥取県にある日本最大の中国庭園 燕趙園に寄贈。



2006 年 3 月 鳥取県の中国庭園 燕趙園に西王母と八仙人像建立



2007 年 3 月 鳥取県の中国庭園 燕趙園に孫子像建立





東郷湖畔の本格的中国庭園と道の駅

燕趙園 <https://www.encho-en.com>

梨の花温泉郷の一つ、東郷池畔に湧く東郷温泉のほど近く、鳥取県と中国河北省の友好のシンボルとして建設された日本最大級の本格的な中国庭園です。

歴代皇帝が造り親しんだ皇家園林方式の中国庭園をそのままに再現しました。設計から資材の調達、加工まですべて中国で行われ、建物は一度仮組したものを解体した上で日本に運び、中国人技術者の下、再度建設しました。屋根には、皇帝しか使用できない黄色の瑠璃瓦を使用し、建物には中国人彩画師により描かれた、皇帝を象徴する五本爪の龍をはじめとした2000以上の彩画が施されています。

◆(一財)鳥取県観光事業団 中国庭園「燕趙園」
〒689-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町引地 565 - 1
TEL.0858-32-2180 FAX.0858-32-2185
道の駅「燕趙園」TEL.0858-32-2184 FAX.0858-32-2195
レストラン「豊味園」(ほうみえん) TEL/FAX.0858-48-6336



2005 年 5 月 韓国西大門刑務所歴史館・獄舎跡訪問・献花

島根県竹島の日制定によって緊張した日韓関係を当研究所は深刻に受け止め、かつて日本の侵略に立ち向かい獄死した、柳寛順女史に代表される独立運動家を收容した西大門刑務所歴史館・監獄跡を訪問、献花。



前日に熊本県の明成皇后暗殺者の子孫と
教育関係者の一団が韓国を訪れ謝罪

2006 年 10 月 韓国釜山銀行・木曜学会主催で講演

「釜山経済の発展模索のための専門家と市民討論会」に小松理事長が招かれ、「グローバル時代における経営者マインド」について基調講演。



小松理事長講演の様子



講演会場

2007 年 3 月 韓国安重根義士殉国記念式典参列・明成皇后生誕地・陵墓訪問

安重根義士殉国記念式典に参列、献花。また明成皇后生誕地・陵墓を訪問。



安重根義士殉国記念式典の様子



明成皇后生誕地・陵墓

2007 年 6 月 中国海南島強制労働跡地訪問

1939 年日本軍占領後、終戦まで鉱山採掘の強制労働が行われた中国海南島を訪問。強制労働者 1000 人が生き埋めにされたと言われる朝鮮村を調査、遺骨を前に慰霊。



安重根義士殉国記念式典の様子



強制労働跡地・展示場

2007 年 11 月 オウトピア構想の拠点 慶熙大学校 訪問

国連世界平和年を提唱し実現させた趙永植学園長が創設された「慶熙大学校」を訪問。学園長のオウトピア構想について意見交換。宋錫源慶熙大学校教授の紹介を受け、この構想を実践する明るい社会をつくる運動（GCS）本部の趙正源総裁と面会、海南島の強制労働者遺骨回収・慰霊について相談した。総裁は翌日、国連事務総長と会見された。



慶熙大学校訪問時の様子



小松理事長との面会翌日に国連事務総長と会見される趙正源総裁

2008 年 6 月 島根県松江市にて演劇「族譜」上演

竹島独島領有権問題を抱える島根県において、歴史の事実と立場による認識の相違を共有し未来に活かすため、演劇「族譜」を観る会松江の会長を小松理事長が引き受け、500 名の参加者のもと上演した。



「族譜」上演にあたってのご挨拶

「歴史に盲目的な人は、現在においても盲目である」竹島・独島領有権問題を単独に捉えるのではなく、近現代史のなかで総合的に捉え、制御された対立エネルギーを、世界で最も大きなテーマとなっている環境問題・健康障害の解決エネルギーに置き換える。そのような想いから「尊厳の命」をテーマとするこの演劇「族譜」を観る会松江の会長を引き受けました。

戦後 60 年が経過してから、アメリカ、カナダ、オランダ、フィリピン、EU 議会で日本政府に対する従軍慰安婦への謝罪要求決議が可決されました。

被害・加害の歴史に関して認識の違いを共有し、怨念を総合的に捉え、止揚に導き、地球共生社会をつくるための資源として生かす智慧と勇気が問われています。古代日本の平和の発祥地ともいわれるこの地での上演を契機として、朝鮮半島とその対岸から世界に先駆け、恒久平和に至る共生の文化を生む人類史的役割を皆様とともに果たすことを通じて、郷土の発展を考えようではありませんか。

2008 年 10 月 第 6 回国際平和博物館会議協賛 「対立の文化から共生の文化へ」発表年

世界の戦争と平和博物館が集まり、京都と広島を主会場に国際平和博物館会議が開かれた。研究所はこの会議を協賛、韓国より金鎬逸安重根記念館館長、宋錫源慶熙大学校教授を招待して同会議に参加。世界で唯一、学内に平和ミュージアムがある京都・立命館大学で、安重根と従軍慰安婦の尊厳の命について発表した。



安齋育郎・国際平和ミュージアム名誉館長が司会を務めた



金鎬逸安重根記念館館長。「大韓国人安重根の東洋平和論」を発表



開会宣言 国際平和ミュージアム高杉巴彦館長



宋錫源慶熙大学校教授 日本研究所長。「平和は理想かー GCS 運動を例として」を発表



小松昭夫研究所理事長。「人類の転換期における朝鮮半島と日本列島の地政学的役割」を発表



国内外からの聴講者、学生の参加も多かった

2008 年 10 月 第 6 回国際平和博物館会議 出雲和議フォーラム

国際平和博物館会議のエクスカージョンとして、安齋育郎立命館大学平和ミュージアム名誉館長、金鎬逸安重根記念館館長、宋錫源慶熙大学校教授、李惠筠安重根記念館総務部長は、出雲和議フォーラム「強くなければ生きられない 優しさがなければ生きる資格がない 対立の文化から共生の文化へ」に参加した。これにあわせ、研究所が仲介し、京都・龍谷大学に収蔵され 10 年間展示がなかった安重根の遺墨、広島・願船寺が所蔵する安重根の「独立」の書を金館長と李部長が確認。韓国へ遺墨貸し出しの道筋をつけた。



安齋名誉館長、金館長、千家管長、李総務部長、小松理事長、宋教授



京都市・龍谷大学にある遺墨



広島県・安芸高田市願船寺にある「独立」の書



島根県松江市での和議フォーラム参加者

テーマ

「平和創造のための空間としての平和博物館」

平和博物館での展示や教育の実践、社会の中での平和博物館の現状(成果や困難)、隣接する諸研究領域の成果の平和博物館への反映など、平和博物館の可能性について広汎に議論できるようなテーマの分科会を準備中です(以下は、現在検討中の案)。

■分科会

- 各平和博物館の活動紹介(地域別)
- 平和博物館は現代の戦争・紛争をどう伝えたか?
- どのようにすれば戦争博物館を平和博物館に変えられるか
- バーチャル・ミュージアムの到達点と展望
- 平和博物館の展示技術の最前線
- どうすれば平和博物館がつくれるか
- 平和教育における平和博物館の活用
- 平和博物館と平和研究の結合
- メディアと平和博物館
- 文化・芸術施設等における平和の展示の可能性

■展示

- ポスターセッション(各館資料展示)
- 「平和博物館は可能か?」

分科会報告募集

分科会での報告を募集します。報告時間は10～30分程度です。日本文もしくは英文で、A4・5枚以内の報告要旨を、2008年6月末日までに、事務局まで電子メールか郵送でお送り下さい。当会議での報告の採否、報告時間及び発表日程などの詳細については、追って事務局よりご連絡します。

ポスターセッション(資料展示)

立命館大学国際平和ミュージアム会場では、参加館や建設運動の現状を紹介・展示し、交流するための特別セッション(ポスターセッション)を開設します。詳細は、4月に立命館大学国際平和ミュージアムH. P. <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html> 内にてご案内いたしますのでご確認ください。

「平和のための博物館」情報をご提供下さい

会議の開催と並行して、日本と世界の「平和のための博物館」の情報を集め、冊子にまとめます。世界の「平和のための博物館」を網羅する印刷物を作成したいと思いますので、必要情報のご提供にご協力下さい。ご提供いただく情報の内容、締め切り期日等の詳細は、4月に立命館大学国際平和ミュージアムH. P. <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html> 内にてご案内いたしますのでご確認ください。

宿泊ホテル

宿泊先は個人でお申し込みください。なお、当会議用として、JTBが一定数のホテルを確保しておりますので、必要な場合は下記までお問い合わせ下さい。

*JTB西日本 EC営業部MICEセンター

大阪府大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階

TEL.06(6260)5076 FAX.06(6263)0717

ボランティアの募集

この会議を実りあるものにするために、会議の企画・運営に力を発揮していただける方、会議の通訳(日英、日韓、日中等)などに協力していただける方を募集しています。ご協力いただける方は、ご氏名及び協力内容等を事務局 6peace-m@st.ritsumei.ac.jpまでご連絡ください。

第6回国際平和博物館会議事務局

〒603-8577 立命館大学国際平和ミュージアム気付

Tel. 075-465-8354 Fax. 075-465-7899

E-mail: 6peace-m@st.ritsumei.ac.jp



平和創造のための空間としての平和博物館
地球的問題解決のための「ピース・リタラシー」の構築をめざして

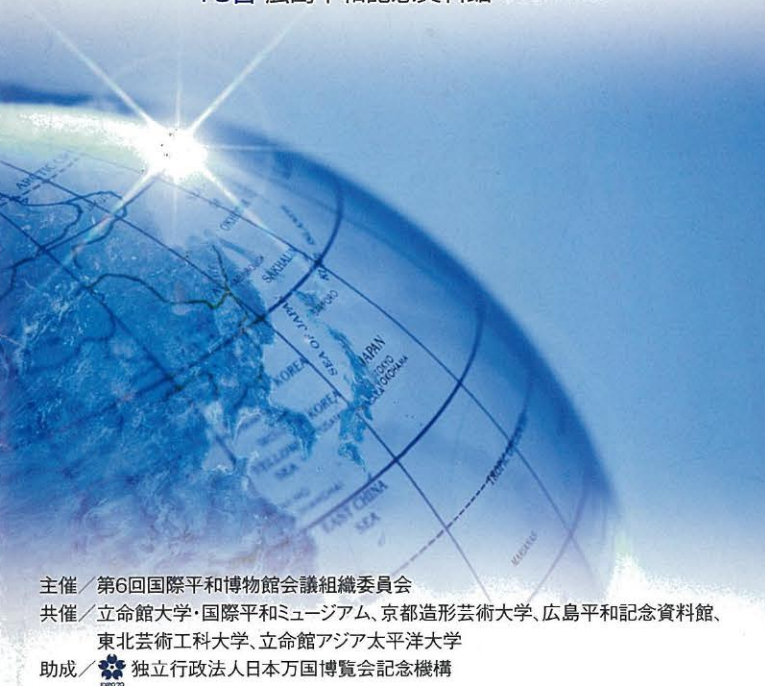
第6回国際平和博物館会議

ご案内

2008年10月6日～8日 立命館大学国際平和ミュージアム

9日 京都造形芸術大学

10日 広島平和記念資料館



主催／第6回国際平和博物館会議組織委員会

共催／立命館大学・国際平和ミュージアム、京都造形芸術大学、広島平和記念資料館、東北芸術工科大学、立命館アジア太平洋大学

助成／独立行政法人日本万国博覧会記念機構

世界の誰もが「希望の世紀」として迎えることを願っていた21世紀は、残念ながら、なおさまざまな暴力に満ちた様相を呈しています。核兵器から地雷や小銃に至るまでの武器はもとより、飢餓・貧困・差別・人権抑圧・社会的不正・環境破壊・劣悪な衛生環境や教育実態など、人間の能力を豊かに開花させることを阻害する数多くの社会的条件が存在しています。私たちは、互いに手を結び合い、知恵を出し合って、これらの問題を解決する方法を探り、国境を越えた全地球規模の共同努力を払うことが求められています。

これまで私たちはたくさんの戦争や暴力を体験してきました。そうした過去と誠実に向き合い、それを繰り返さないための教訓をしっかりと学び、実践することは、とても大切なことです。個人の体験は時とともに失われがちです。私たちはそれを社会的記憶として世代を越えて伝え、平和を創造するために積極的に役立てることが大切でしょう。平和のための博物館活動は、そのための効果的な方法であり、これからの社会づくりに参加する若い世代を含めて、戦争や暴力の悲惨さ、命の尊さ、平和のかけがえのなさをしっかりと伝えていく責務があります。

平和のための博物館は、また、過去や現在のさまざまな暴力の悲惨な実態を知らせるだけの場であってはなりません。互いに人間性を信じあい、違いを超えて手を結び合い、自己実現を阻害するさまざまな暴力を克服し、人々が能力を存分に発揮してそれぞれの目標に向かって生き生きと躍動する—そんな社会づくりのためのこころと知恵を共有できる空間でありたいものです。そのためには、平和のための多様な活動にとりくんでいる博物館どうしが経験を交流し、知恵を分

かち合い、創造的な方法を編み出し、互いに励ましあってより効果的な活動を展開することが大切です。

この国際平和博物館会議は、1992年以来、イギリス・オーストラリア・日本・ベルギー・スペインとほぼ3年おきに会議を開き、実績を積み重ねてきました。1998年に大阪と京都で開催された第3回会議は多くの方々の支援と参加によって、大きな成果を生み出すことができました。それから10年目の2008年10月、第6回会議が再び京都と広島を舞台に開かれる運びとなりました。

私たちが直面している国際紛争や地球環境問題など、人類の死活に関わる重要な問題を解決するために、平和博物館は「ピース・リテラシー」(平和創造のための教養)の涵養と普及にどう貢献できるか—この大切な問題についての知恵を深め、共有するために、ぜひ皆さんの積極的なご支援、ご協力、ご参加を期待いたします。

平和博物館を平和づくりの発信地、集約地、そして、新たな創造の地とするために!



プログラム

◆10月6日(月)〈立命館大学 衣笠キャンパス〉

基調講演(ピーター・ヴァン・デン・デュンゲン: 平和のための博物館国際ネットワーク(INMP)統括コーディネーター/ブラッドフォード大学教授)
分科会
立命館大学国際平和ミュージアム見学
レセプション

◆10月7日(火)〈立命館大学 衣笠キャンパス〉

分科会
平和のための博物館国際ネットワーク(INMP)総会
記念講演
分科会

◆10月8日(水)〈立命館大学 衣笠キャンパス〉

記念シンポジウム
INMP 総会
分科会・平和のための博物館市民ネットワーク会議
エクスカーション

◆10月9日(木)〈京都造形芸術大学〉

全体テーマ「平和創造における芸術の役割」
記念講演(千住博: 京都造形芸術大学学長)
狂言「棒縛」とミニトーク/春秋座
和太鼓「恵・恵炎」/春秋座
パネルディスカッション+展覧会「平和博物館は可能か?」
パネルディスカッション「芸術と平和—ローカルな知—からの問いかけ」
茶会・レセプション

◆10月10日(金)〈広島平和記念資料館メモリアルホール〉

原爆ドーム、広島平和記念資料館、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展見学
記念講演(秋葉忠利: 広島市長予定)
被爆者証言
記念シンポジウム
閉会総会(第6回国際平和博物館会議宣言)
レセプション

※プログラムは、都合により変更することがあります。

論文集

会議の報告用論文集(「予稿集」)は、会議当日に配布します。また、会議の全容を収録・編集した「報告集」を会議終了後に出版します。

言語

会議の公用語は英語と日本語です。両者の間には基本的に同時通訳、部分的に逐次通訳サービスを行います。中国語・朝鮮語についても、可能な範囲で通訳の便宜をはかります。

日本の参加者の交流会

「平和のための博物館市民ネットワーク」による日本の参加者のための交流会を10月8日(水)午後で開催します。

日本の参加者の参加登録

日本の参加者(日本在住の外国人参加者を含む)の全日程参加登録料は、25,000円です。参加登録、会議で提出されるすべての報告資料の配布、通訳、昼食、コーヒー・ブレイクのサービスを受けることができます。ただし、宿泊代金、移動費、レセプション及びエクスカーションに参加される場合は実費負担をお願いします。一日のみ参加する場合の参加登録料は、一般3,000円、学生2,000円となります。一日の参加者は、当日企画の講演・公演・分科会に自由に参加でき、通訳がつきます。なお、宿泊代金、移動費、レセプション及びエクスカーションに加え、会議報告資料、昼食等につきましては実費負担をお願いします。

登録手続き等について

本大会に関心のある方は、2008年4月に立命館大学国際平和ミュージアムH. P.
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html>
内にてご案内いたしますのでご確認ください。

第6回

国際平和博物館会議 開催施設

京都

①立命館大学国際平和ミュージアム
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
TEL.075-465-8151
http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html

世界初の大学立の平和博物館。常設展示室は、日本の「十五年戦争」の加害と被害の実態や現代に至る世界の戦争・紛争を展示しています。平和創造展示室は、「戦争がなければ平和でしょうか?」と訴えかけ、世界の構造的暴力の諸相とそれを克服するための市民の努力を描いています。メディア資料室では、戦争や平和に関わる豊富な文献・メディア資料を設置しています。「無言館」(長野県上田市)の姉妹施設である「無言館／京都館」のうちの画室(アトリエ)も併設されています。



京都

②京都造形芸術大学
〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL.075-791-9122
http://www.kyoto-art.ac.jp/

1977年創立。「芸術による平和創造」の理念の下、10学科31コースの芸術学部と3学科12コースの通信教育部、大学院を設置。約1万人の在学生数は国内の芸術大学としては最大級の規模を誇ります。キャンパスは、東山三十六峰の一つ瓜生山に位置し、既存樹木との共存がはかられています。学長千住博をはじめとして、秋元康、浅田彰、宇川直宏、榎本了老、竹村真一、辻仁成、椿昇、ヤノベケンジなど第一線で活躍するアーティストや研究者が専任教員として指導に当たっています。



広島

③広島平和記念資料館
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-2
TEL.082-241-4004
http://www.pcf.city.hiroshima.jp/

1945年8月6日、広島は人類史上初めて原子爆弾による被害を受け、街は壊滅し多くの人の生命が奪われました。広島平和記念資料館は被爆から10年後の1955年8月に開館し、以来、半世紀以上にわたり、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願うヒロシマの心を世界の人々に伝えてきました。館内では、被爆者の遺品や被災写真など400点以上に及ぶ資料を生々しく展示し、原爆の惨禍を他の誰にも体験させてはならないという被爆者の願いを伝え、人類は核兵器とは絶対に共存できないことを強く訴えています。



日本の平和博物館

世界には、平和博物館・施設が約120館ありますが、そのうち半数以上が日本に存在しています。

日本は、自治体立の施設も含めて

世界でもっとも平和博物館が多い国です。

1994年には、自治体立の平和博物館を中心に

8館で「日本平和博物館会議」が、1998年には、

個人加盟の連携組織である「平和のための

博物館市民ネットワーク」が結成され、

情報交流や協議の機会を持ち、

相互の研鑽と共同の取り組みを進めています。



日本の平和博物館

北上平和記念展示館 TEL.0197-73-5876
〒024-0334 岩手県北上市和賀町藤根14-147-3 藤根生活センター内

太平洋戦史館 TEL.0197-52-4575
〒029-4427 岩手県奥州市衣川区陣場下41

青森空襲資料常設展示室 TEL.017-734-0163
〒030-0813 青森県青森市松原1-6-15 青森市中央市民センター内

しょうけい館 TEL.03-3234-7821
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館

昭和館 TEL.03-3222-2577
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

わたつみのこえ記念館 TEL.03-3815-8071
〒113-0033 東京都文京区本郷5-29-13 赤門アビタシオン1階

東京大空襲・戦災資料センター TEL.03-5857-5631
〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 政治経済研究所気付

都立第五福竜丸展示館 TEL.03-3521-8494
〒136-0081 東京都江東区夢の島3-2

せたがや平和資料室 TEL.03-3703-8100
〒158-0091 東京都世田谷区中町2-29-1 区立玉川小学校内

ホロコースト教育資料センター TEL.03-5363-4808
〒160-0015 東京都新宿区大京町22-1HAKUYOHビル6階

中野区平和資料展示室 TEL.03-3228-8988
〒165-0026 東京都中野区新井3-37-6

女たちの戦争と平和資料館 TEL.03-3202-4633
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2階

高麗博物館 TEL.03-5272-3510
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1 第2韓国広場ビル7階

中国帰還者連絡会記念館 TEL.049-231-9706
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡1947番地25

原爆の図・丸木美術館 TEL.0493-22-3266
〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

山梨平和ミュージアム TEL.055-235-5659
〒400-0862 山梨県甲府市朝気1-1-30

静岡平和資料センター TEL.054-247-9641
〒420-0838 静岡県静岡市葵区相生町6-20 中央ビル2F

浜松復興記念館 TEL.053-455-0815
〒430-0937 静岡県浜松市中区利町304-2

戦争と平和の資料館 ピースあいち TEL.052-602-4222
〒465-0091 愛知県名古屋市中区東区よき台2-820

岐阜市平和資料室 TEL.058-268-1050
〒500-8521 岐阜県岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエアG

大阪人権博物館 TEL.06-6561-5891
〒556-0026 大阪府大阪市浪速区浪速西3-6-36

吹田市平和祈念資料室 TEL.06-6387-2593
〒564-0072 大阪府吹田市出口町4-1

堺市立平和と人権資料館 TEL.072-270-8150
〒599-8273 大阪府堺市中区深井清水町1426 ソフィア堺内

丹波マンガン記念館 TEL.0771-54-0046
〒601-0533 京都府京都市右京区京北下中町

舞鶴引揚記念館 TEL.0773-68-0836
〒625-0000 京都府舞鶴市引揚記念公園内

奈良県立図書館 戦争体験文庫 TEL.0742-34-2111
〒630-8135 奈良県奈良市大安寺西1丁目1000番地

戦没した船と海員の資料館 TEL.078-331-7588
〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通り3-16全日本海員組合関西地方支部2階

神戸市戦災記念資料室 TEL.078-682-9501
〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駅南通5-1-1

西宮市平和資料館 TEL.0798-33-2086
〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 西宮市教育文化センター1F

姫路市平和資料館 TEL.079-291-2525
〒670-0971 兵庫県姫路市西延未475

岡山空襲平和資料館 TEL.086-233-8311
〒700-0905 岡山県岡山市春日町5-6 岡山市勤労者福祉センター内

ホロコースト記念館 TEL.084-955-8001
〒720-0004 広島県福山市御幸町中津原815

福山市人権平和資料館 TEL.084-924-6789
〒720-0061 広島県福山市丸の内1-1-1

大久野島毒ガス資料館 TEL.0846-26-3036
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島

高松市市民文化センター平和記念室 TEL.087-833-7728
〒760-0068 香川県高松市松島町1-15-1

平和資料館・「草の家」 TEL.088-875-1275
〒780-0861 高知県高知市升形9-11

碓井平和祈念資料館 TEL.0948-62-5173
〒820-0502 福岡県嘉麻市上白井767碓井琴平文化会館内

兵士庶民の戦争資料館 TEL.09496-2-8565
〒820-1101 福岡県鞍手郡小竹町御徳415-13

埼玉

④埼玉県平和資料館
〒355-0065 埼玉県東松山市岩殿242-113
TEL. 0493-35-4111
http://homepage3.nifty.com/saitamapeacemuseum/

川崎

⑤川崎市平和館
〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町33-1
TEL. 044-433-0171
http://www.city.kawasaki/25/25heiwa/heiwa.htm

神奈川

⑥地球市民かながわプラザ
〒247-0007 神奈川県横浜市長区小管ヶ谷1-2-1
TEL. 045-896-2626
http://www.k-i-a.or.jp/plaza/

大阪

⑦ピースおおさか
〒540-0002 大阪府大阪市中央区大阪城2-1
TEL. 06-6947-7208
http://www.peace-osaka.or.jp/

長崎

⑧長崎原爆資料館
〒852-8117 長崎県長崎市平野町7-8
TEL. 095-844-1231
http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/na-bomb/museum/

沖縄

⑨沖縄県平和祈念資料館
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1
TEL. 098-997-3844
http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/

岡まさはる記念長崎平和資料館 TEL.095-820-5600
〒850-0051 長崎県長崎市西坂9-4

ナガサキピースミュージアム TEL.095-818-4247
〒850-0921 長崎県長崎市松が枝町7-15

少国民資料館 TEL.095-823-3220
〒851-0251 長崎県長崎市田上3-17-47

佐伯市平和祈念館やわらぎ TEL.0972-22-5700
〒876-0811 大分県佐伯市鶴谷町3-3-12

対島丸記念館 TEL.098-941-3515
〒900-0031 沖縄県那覇市若狹1-25-37

ひめゆり平和祈念資料館 TEL.098-997-2100
〒901-0344 沖縄県糸満市伊原671-1

南風原文化センター TEL.098-889-7399
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城716

佐喜真美術館 TEL.098-893-5737
〒901-2204 沖縄県宜野湾市上原358

ヌチドゥタカラの家 TEL.0980-49-3047
〒905-0502 沖縄県国頭郡伊江村字東江前2300-4

平和文化史料館ゆきのした TEL.0776-66-1564
〒910-0302 福井県坂井市丸岡町

長岡戦災資料館 TEL.0258-36-3269
〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-1-2「まちなか・考房」1階

アウシュビッツ平和博物館 TEL.0248-28-2108
〒961-0835 福島県白河市白坂三輪台245

仙台市戦災復興記念館 TEL.022-263-6931
〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町2-12-1

2008 年 12 月 平和発信のフォートレス 沖縄研修道場視察 沖縄

竹岡誠治氏、画家・彫刻家の田淵隆三あきる野美術工房主宰との縁で、かつて中国に向けられていた「有翼核ミサイルメース B 基地」であった創価学会沖縄研修道場を訪れ、ミサイル発射台をそのまま残し、田淵氏制作の 6 体のブロンズ像が建つ「世界平和の碑」を視察した。核ミサイル基地をそのまま人類史に残した施設は平和発信のフォートレス（とりで）といわれている。



「平和大歓喜の像」前にて



人間革命之碑

田淵 隆三 氏 プロフィール ホームページより抜粋 <http://www.tabuchi-art.com/>

世界 10 数カ国を訪ね古今の美術史をたどりながら研鑽と創作活動をすすめる。

国内及び海外で多数の油彩画を製作。「世界平和の碑」（創価学会沖縄研修道場内）の『平和像』（1983 年）、「いのちの森」（岡山鏡野、山田養蜂場「みつばち牧場」内）の彫刻（2006 年）を制作。

編・著書に『光の朝 絵の恩師と私』『生命の旗のもとに（平和像制作の記録）』『星辰を抱きて 美術史探訪・古代』『美術紀行 喜望峰（南アフリカ・イギリスの旅）』『美術紀行 花の都（奈良・京都の旅）』（以上、八王子グループでの自費出版）、『美術紀行 花のアフロディテ ギリシャ・イタリア編』（霞出版社）、『美術紀行 太陽とロータス エジプト・フランス編』（リサーチ出版）、『画文集 龍ののぼる姿を見よ イタリア美術紀行』（リサーチ出版）、『美術紀行 サン・ロータスの道 日本・東洋編』（万葉舎）、『写真詩集 太陽と雨』（万葉舎）がある。

2009 年 2 月 22 日 中国古典名言録 竹島＝独島問題入門 出版記念講演 混迷の時代、 出雲から陽が昇る

「中日韓英四カ国語によるグローバル時代の人間学 中国古典名言録」と、研究所理事である内藤正中島根大学名誉教授による「竹島＝独島問題入門」の出版を記念し、「竹島の日」を生かすとの視点から、中国の学苑出版社より孟白社長、馬紅治編集長、張可喜新華社通信元東京駐在の参加を得て、第四回目の竹島の日にあたる 2 月 22 日、松江市のくにびきメッセに 700 人が集まり、出版記念講演会「混迷の時代、出雲から陽が昇る」を開催した。



四カ国語による中国古典名言録は
島根県内すべての中・高・大学に贈呈された



演題と会場の国旗掲揚塔には
六カ国協議参加国すべての国旗を掲げた



混迷の時代、出雲から陽が昇る

中国古典名言録 発行人 小松昭夫
出版記念 竹島＝独島問題入門 著作 内藤正中

梅花の待ち遠しい季節です。ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。
島根県は 2005 年、「竹島の日」条例制定によって固有権主張を世界に向けて明確にしましたが、
国政の場で韓国との交渉はされた形跡がありません。金融資本主義が終焉し、世界は混迷のときを迎
えています。2 月 22 日に第 4 回「竹島の日」を迎えます。このままの状態で経済問題が深刻化すれ
ば、必然的に朝鮮半島と日本列島で大きな社会問題が発生し、国内外で不測の事態が懸念されます。
朝鮮半島と対岸の日本列島では、世界に唯一残る冷戦構造と核大国の均衡のなか、時間と空間が凝縮し
た象徴が竹島独島と日本海東海の呼称問題です。他にも沢山問題がありますが、それらを総合的に活
かし、出雲大社に伝わる和議文化を人類共通の財産とするために、このたび「中国古典名言録」を
出版しました。当研究所内藤正中理事執筆の「竹島＝独島問題入門」出版とあわせまして、記念講演会・
シンポジウムを開催いたします。みなさまの積極的なご参加を、心よりお待ちしております。

財団法人人間自然科学研究所
理事長 小松昭夫



張可喜
中国経済文化出版社北京事務所
元新華社通信記者



孟白
中国出雲大学経済学部長兼
九二学社中央委員会委員



馬紅治
中国北京学苑出版社
中国古典名言録責任編集



安清君
立命館大学国際関係学部教授
国際平和ミュージアム名誉院長



高麗泰恩
千葉十一書院寺大林寺住持
千葉十一書院寺大林寺住持



王有恒
作家、日本ペンクラブ会員
島根県立大学総合経営学部長



金佳
丹後市立丹後高等学校教員
丹後市立丹後高等学校教員



長谷川白
島根県立大学法学部教授
島根県立大学法学部教授



安津穂子
特定非営利活動法人女性と
子どもの国際交流推進委員会代表



王幸
元小松電機株式会社
アパレルデザインプロジェクト代表



王幸
元島根県立大学法学部教授
島根県立大学法学部教授



王幸
島根県立大学総合経営学部長
島根県立大学総合経営学部長

【日時】 2009 年 2 月 22 日 (日曜日)

● くにびきメッセ 国際会議場 受付 8:00～ (参加費 無料)

講演会 8:50～16:00

1. あいさつ

2. オープニング映像

3. 講演 (9:30～14:20)

『21 世紀の新たな民主資本主義』

『地方発の政治と国民意識の醸成』

『世界の現状と中国古典名言録の意義』

『安重根義士「東洋平和論」の今日的意義』

—— 昼 休 憩 12:00～13:00 ——

『歴史問題に関する対立の性格と解決の方向性について』

『平和博物館の役割とあり方』

4. シンポジウム (14:30～16:00)

『国民意識の醸成と朝鮮半島と日本列島の役割』

分科会 16:10～17:30

第 1 分科会

・ 尊厳の命から未来をひらく

第 2 分科会

・ 日本の改革は司法改革から

第 3 分科会

・ 古代日本と未来

第 4 分科会

・ 真の地域活性化とは

● 松江東急イン 懇親会 18:30～ (参加費 5,000 円)

※ 懇親会にご出席の方は、恐れ入りますが 2/19 迄に下記へ申込をお願いします。(当日の混雑防止のためにもご協力をお願いします。)

山陰合同銀行 古志原支店 普通 3636335 財団法人 人間自然科学研究所

http://www.hns.gr.jp 担当: 小谷・堀江・藤井・川中・尹盛雄・徐佳・上田

TEL 050-3161-2490 FAX 050-3161-3846(0852-32-3620) E-mail: webmaster@hns.gr.jp

申 込 書

氏 名	住 所	TEL/FAX	メールアドレス	講演会	弁当	分科会 (印をつけてください)	懇親会
				出・欠	要・不要	第1・第2・第3・第4	出・欠
				出・欠	要・不要	第1・第2・第3・第4	出・欠

主催 財団法人 人間自然科学研究所 共催 小松電機産業株式会社・太陽の会



中日韓英四カ国語対訳 中国古典名言録
千家尊祐宮司様直筆の「幸魂奇魂」

2009 年 3 月 29 日 山口県光市 伊藤博文記念館



山口県光市岩田駅前



岩田駅内に飾られる伊藤博文公の写真



伊藤公記念館前



銅像と産湯の井戸碑石

2009 年 3 月 30 日 岡山県 浄心寺



津田雅行住職とお寺の前で

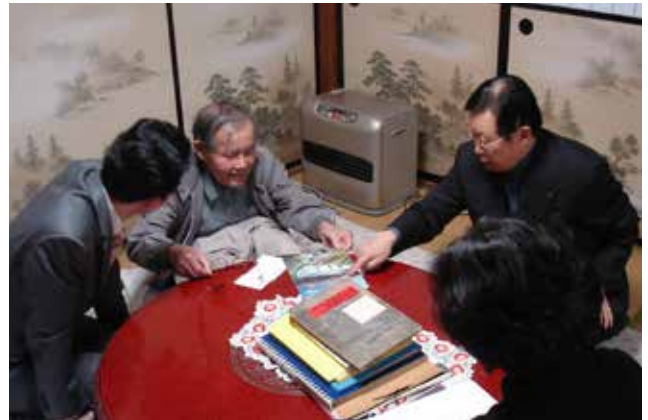


対談中



津田海純教成師が安重根義士からもらった遺墨 3 点（龍谷大学寄託）

2009 年 3 月 30 日 高知県 小松亮様宅



小松亮様から安重根義士に関する資料を見させて頂く



小松利宗様が安重根義士からもらった遺墨



小松亮様の叔父にあたる小松利宗様が描いた裁判の様子（当時遼東新聞の記者）

2010年2月 日本海＝東海を囲む朝鮮・韓国・日本から世界へ平和を シンポジウムに協賛

平和アピール実行委員会・魔女の会が主催するシンポジウムに人間自然科学研究所は協賛し、くにびきメッセ（島根県松江市）にて開催。



2010年6月 安重根義士遺墨「獨立」日本初公開 金容雲・日韓併合100周年記念講演大学教授

6月15日 広島県日韓親善協会の要請をうけ、広島県の願船寺で保管されている安重根義士の遺墨「獨立」を研究所が紹介、広島市内で開かれた同協会の総会で日本国内で初めて披露された。総会には金容雲檀國大学韓国数学文化研究所長が日韓関係について「20世紀のルサンチマン（怨念）を、21世紀のルネッサンスへ」と講演した。



遺墨「獨立」とともに講演する金容雲氏



遺墨「獨立」（安芸高田市 願船寺所蔵）



総会には在広島韓国総領事など要人が出席した



小松利宗様が安重根義士からもらった遺墨

2010年7月 小松電機産業 ソウル支社開所式 門番Gシリーズ発表会 韓国語版「治水の偉人伝」漫画出版記念式典

「治水の偉人 周藤彌兵衛 清原太兵衛 大槻七兵衛」の韓国語版漫画の同時出版、ソウル支社の開所、韓国における門番Gシリーズの発表を合わせ、ソウル市内で記念式典を開催。150人参加。

小松理事長に徐英勲大韓赤十字社元総裁（元 KBS 社長）から、赤十字社名誉章が贈られた。



韓国語版漫画
左より「周藤彌兵衛、清原太兵衛、大槻七兵衛」



大韓赤十字社から名誉章を受章

2012 年 4 月 安重根義士紀念館 独立の書受け取り

安重根義士記念館より独立の書レプリカが贈呈され小松理事長の代理としてソウル支社スタッフが受け取り日本島根へ持ち帰った。



安重根義士記念館にて独立の書を受け取り



日本島根に持ち帰り小松理事長へ渡された

2012 年 5 月 オランダ・ハーグの李儁烈士記念館へ独立の書を贈呈

オランダ・ハーグの李儁烈士記念館の 李基恒院長と宋昌妹館長に面会し独立の書レプリカを贈呈。



独立の書贈呈



李儁烈士記念館前にて

2013 年 9 月 李儁烈士記念館へ再訪



独立の書贈呈



李儁烈士記念館にて

2006 年 7 月 韓国釜山の政財界人でつくる木曜学会が発行する
「月刊 市民時代」に理事長の取材記事が掲載



徐世旭編集長とは 2006 年に初めて面会、同年の「市民時代」にも、小松理事長の取材が掲載されています。

研究所の活動と、日本、韓国、朝鮮、中国、露国、米国、そして世界について、日本人として、韓国人として、それぞれのスタンスを明確にしてインタビューを受けています。

見出し

「韓中日の平和運動展開をする日本の中小企業人小松昭夫氏」

2012 年 7 月 韓国釜山の政財界人でつくる木曜学会が発行する
「月刊 市民時代」に理事長の取材記事が掲載



見出し

「“和の文化”を創出する日本の人間自然科学研究所 小松昭夫理事長」

2012 年 7 月 韓国 老斤里記念館訪問



京釜線鉄道橋へ訪問



老斤里平和公園にある慰霊塔へ参拝

2013 年 8 月 出雲から陽が昇るシンポジウム開催

慰安婦問題に関する意見書を島根県議会は可決しました。

それを踏まえ韓国より、元慰安婦の李容洙さん(86)と弁護士会平和使節団が来県、当研究所は活動実績を背景に「輝く未来を考える女性の会」とともに、シンポジウムを開催。

第 1 部: 映画「弁護士布施辰治」ダイジェスト上映

第 2 部: 李容洙氏などスピーチ シンポジウム



「審勢得人」とかかれた書を贈呈頂きました

2013 年 8 月 6 日

日本島根県訪問団

- 訪問団体名：大邱地方弁護士会平和使節団
- 訪問目的：従軍慰安婦問題に対し、強制性を認めない安倍内閣に是正を求める意見書を、はじめて発意された新日本婦人の会と、その意見書の採択を議決した、島根県議会对に感謝の意を表明し、これを契機に韓・日間の懸案である、慰安婦問題を平和的に解決し、韓・日間の望ましい友好関係を増進する。
- 訪問者名簿

順	姓 名	職 位	連絡處
1	朴賢相 パク・ヒョンサン	大邱地方辯護士會 辯護士	
2	崔鳳泰 チェ・ボンテ	大邱地方辯護士會 辯護士	
3	方文一 バン・ムンイル	大邱地方辯護士會 辯護士	
4	林汶雨 イム・ムンウ	大邱地方辯護士會 辯護士	
5	炳翼 キム・ビョンイク	大邱地方辯護士會 辯護士	
6	李容洙 リ・ヨンス	日本軍 慰安婦 被害者	
7	吳相泰 オ・サンテ	前 大邱大學校人文大學 學長	
計	7 名		



日本訪問に同行した朴真観記者は3 ページに亘って特集記事を掲載

2013 年 9 月 世界の平和フィランソロピスト (事業化)20 人 オランダ・ハーグ展

カーネギーの寄付によって創設された「平和宮」(オランダ・ハーグ市、国際司法裁判所など国際機関が多数入っている)の100周年記念事業「世界の平和フィランソロピスト(事業化)20人」展に小松理事長が選ばれパネル展示されました。



※以下パネル文を翻訳

日本人実業家で、1973 年小松電機産業を設立、シートシャッター「門番」とクラウド統合水管理システム「やくも水神」の2つの新産業を興した。1994 年人間自然科学研究所財団を設立、治水の偉人「周藤彌兵衛翁」顕彰事業から活動を始めた。

戦後責任を自覚、生命・人類の特性・世界史の視点で「民間外交」を展開、アジアをはじめ世界の戦争と平和記念館を訪問、追悼・献花・寄付を続けている。核大国の中国、米国、露国の影響下にある朝鮮半島と日本列島から世界平和の礎を築くための人道主義的实践はきわめて意義深い。

平和・環境・健康をテーマに多くの国際セミナーを開催。2002 年中日英三カ国語「論語」を出版、日中両国政府に贈呈。2008 年中日韓英四カ国語「中国古典名言録」を出版、北京で「国民国連構想」を発表した。2013 年コンセプト映像「出雲から陽が昇る」を YouTube に発表、「和の文化」創造プロジェクトに取り組んでいる。また、ベルタ・フォン・ズットナーの顕彰に努力する日本の中心人物の一人でもある。



この開会式にあわせて、ベルタ・フォン・ズットナーの胸像の除幕式も行われました



2014 年 6 月 ベルタ・フォン・ズットナー女史没後 100 周年記念セレモニー

世界初女性ノーベル平和賞受賞者のベルタ・フォン・ズットナー女史没後 100 周年の行事が、6 月 17 日よりオーストリア・ウィーン市で開かれ、この式典に小松理事長を含め日本から 11 名が参加。式典の前夜祭では、人間自然科学研究所の平和構想をお伝えするために、動画「出雲から陽が昇る」の放映と、小松理事長のスピーチを行いました。



2014 年 6 月 17 日の前夜祭では人間自然科学研究所の平和構想をお伝えするために、動画「出雲から陽が昇る」の放映と、小松理事長のスピーチを行いました。

YouTube にて式典主催者のウィーン平和博物館より紹介
<https://www.youtube.com/watch?v=JGGF2ALYk58>



ヴェルナー・ホルバイン氏作の小松理事長の肖像画



ウィーン平和記念館中庭にてズットナー胸像を仮設し式典参加者とともに除幕を行いました。その際にズットナー像を 6 ヶ月間の貸出とおおよそ 100 万円の寄付を行いました。



イングリッド・ロレマ氏にベルタ・フォン・ズットナー像（2 号像）の制作を依頼し、この日多くの方の参列のなか除幕式及び貸し出しを行いました。



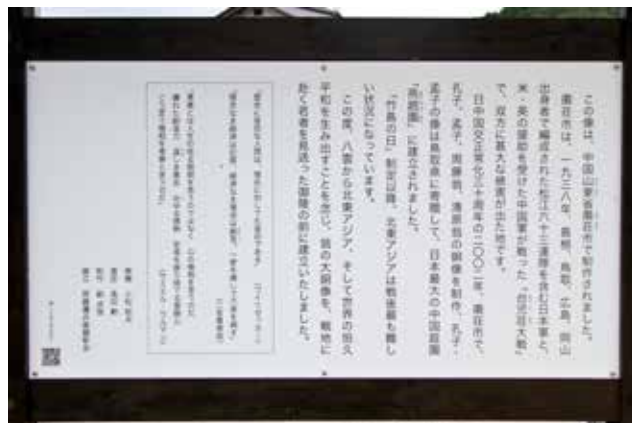
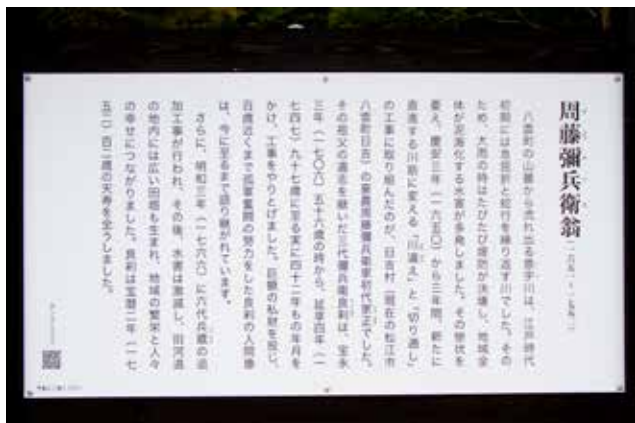
2014 年 8 月 松江市八雲町日吉親水公園に周藤彌兵衛翁大銅像を仮設建立

水循環基本法成立後初の「水の日」8月1日に島根県松江市八雲町の日吉親水公園に2002年に制作した彌兵衛翁のおよそ8倍の大銅像を仮設建立し、周藤彌兵衛顕彰会に寄贈。

式典には200名あまりの方々にご出席いただき除幕及び贈呈式を行いました。



除幕にはひよし保育園の園児も参加し18名で除幕致しました。



ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20140801.html>

ホームページにて報告書・写真資料・銅像案内看板・新聞記事をご覧頂けます。

2014 年 11 月 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム

2013 年にカーネギーの寄付によって創設された「平和宮」の 100 周年記念事業「世界の平和フィランソロピスト 20 人」展に小松理事長が選ばれパネル展示され、この開会式にあわせて、ベルタ・フォン・ズットナー女史のが除幕されました。

胸像を制作したイングリッド・ロレマ氏と出会い平和へのおもいに共に惹かれ、この度胸像 3 号像を制作し日本で初めてお披露目された。

制作者のイングリッド・ロレマ氏をオランダから迎え、他 8 名の講師とともに 11 月 23 日に松江市のくにびきメッセでシンポジウムを開催しました。



ホームページ参照
<http://www.hns.gr.jp/event/20141123.html>
 イベントページより書籍をダウンロード頂けます。



ホームページ参照
<http://www.hns.gr.jp/books/suttner.html>
 書籍をダウンロード頂けます。

ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20141123.html>

ホームページにて報告書・写真資料・銅像案内看板・新聞記事をご覧頂けます。

2015 年 5 月 富山県高岡市にて国産ズットナー像を制作

2014 年にオーストリア・ウィーンの平和記念館に半年間貸し出していたイングリッド・ロレマ氏作のベルタ・フォン・ズットナー像（2 号像）を富山県高岡市に送り、型取りして国産ズットナー像を制作。



オランダ産と国産のズットナー像を並べて



富山県高岡市で作られた国産ズットナー像

2015 年 7 月 光復 70 周年記念作業市民委員会に参加

「竹島の日」を制定した島根県出身の小松理事長は、日本人として初めて独立記念館に寄付し、安重根記念館の推薦でこの委員会に唯一の日本人として参加。



韓国の首都ソウル市の「光復 70 周年記念作業市民委員会」に参加



柳ギョンギ・ソウル市副市長と対談

2015 年 8 月 周藤彌兵衛翁像建立 1 周年記念 水と火の祭を開催

2014 年 8 月 1 日（水の日）に仮設建立した松江市八雲町の親水公園で 1 周年記念に八雲志人館が主催で水と火の祭を開催。熊野大社の宮司による神事と餅撒きから始まり、出雲かんべの里の錦織館長による漫画家寺戸吉信氏の紙芝居には多くの方が見入っていた。

また、私の八月十五日と題し、地元八雲町の 4 名の方によって戦争体験が語られました。その他、火おこし体験や古代笛の演奏や朗読なども催され多くのお客様で賑わった。



周藤彌兵衛翁像とズットナー像



語り私の八月十五日 小早川富夫さん（八雲町東岩坂）



熊野大社宮司による餅撒きの様子



紙芝居 周藤彌兵衛翁

2015 年 11 月 伝統工芸展にズットナー像を展示

11 月 6 日から 8 日に富山県高岡市で伝統工芸品 国民会議全国大会「富山大会」が開かれ、国産のズットナー像を展示。



2015 年 11 月 出雲から陽が昇るシンポジウム開催

出雲、沖縄、そして女性初のノーベル平和賞受賞者ベルタ・フォン・ズットナーの像で縁が結ばれ、ヨーロッパから世界平和への潮流を生み出すことを目指してオーストリア・ウィーン在住のイップ常子さんを招きシンポジウムを開催。



シンポジウムポスター



企画：小松昭夫 制作：寺戸吉信



パネルディスカッション



舟木美代子さんが描いた日本画切り通しを披露

ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20151117.html>

ホームページにて写真資料・動画をご覧頂けます。

2015 年 5 月 韓国 日本大使館前 ベルタ・フォン・ズットナーと少女像が並ぶ

19 世紀末から 20 世紀初頭に掛けて、明治維新と殖産興業によってアジアで最初に産業革命を起こし、西欧からアジアへ産業を広げる発端となった日本の産業遺構の世界産業遺産暫定リストへの登録と、「慰安婦」をユネスコ世界記録遺産にするよう韓国、中国、朝鮮、オランダ、台湾、フィリピンが共同で登録実現に向かい始めた、この対立点を生かし、天の時を得て、在韓日本大使館前にある少女像の前で、ベルタ・フォン・ズットナーのパネルを据え、記録に残した。



ズットナー像の等身大パネルを慰安婦像の横に置き一礼をし、
慰安婦像の後ろに貼られていた安重根義士の写真にも一礼



慰安婦像とズットナー像を並べて



状況を説明した日本語のわかる機動隊員と



日本大使館の前には警察のバスが 6 台くらい停まり、
門の前には 4 人の機動隊員が待機してい

2016年4月 八雲ゆう悠こいのぼり

松江市八雲町の若者たちが活動する「八雲ゆう人会」が毎年開催する鯉のぼりイベントに小松電機産業は協力・出店させていただきました。

イベントスケジュールの他に、会場の様子をライブカメラでご覧頂けます。詳しくはイベントページをご覧ください。



周藤彌兵衛翁像横では八雲志人館が出店



各種催しが企画され多くのお客様で賑わう



ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20160410.html>

ホームページにて周藤彌兵衛翁像のライブ映像をご覧頂けます。

2016 年 4 月 出雲國神仏霊場合同祭事世界平和祈願祭

松江市八雲町にある熊野大社で開催された第 12 回出雲國神仏霊場合同祭事 世界平和祈願祭にベルタ・フォン・ズットナー像を展示し、



ズットナー像に注目する参列者



ズットナーと巫女



ズットナー像と奉納太鼓



神職・僧侶の行列参進

ゆう科学通信参照

http://www.komatsuelec.co.jp/arc/arc-yuukagaku/20160509yuukagaku_n.pdf

ゆう科学通信 vol.36 で当日の様子をご覧ください。

2016 年 8 月 周藤彌兵衛翁像建立 2 周年記念 「水と火の祭」を開催

8 月 1 日は「水の日」。

八雲町に治水の偉人・周藤彌兵衛翁の銅像が建立されて 2 周年を迎え、これを記念し、水の神様、火の神様、そして先人に感謝し、平和を創る「第 2 回 水と火の祭」を開催致しました。日本の発祥地ともいわれる古代出雲国の中心地・意宇郡（おうのこおり）を流れる「悠久の河」意宇川。かつて熊野大社の本宮があったとされる天狗山（熊野山）の湧き水を源流としています。古来、意宇川は氾濫を繰り返し、田畑・家屋を押し流し、人々の命を奪いました。今から 250 年前の江戸時代、日吉村（現在の八雲町）の大庄屋である周藤彌兵衛翁は私財を投じ、42 年かけて剣山の硬い岩山を鑿と槌で切り開き、川の流れを変え、新田を開発、洪水の苦しみから人々を救うために生涯を尽くしました。今も切通しの岩には鑿の跡が残っています。

火の発祥の神社である熊野大社では、天狗山（熊野山）の檜で作られた「火きり臼」と卯ツ木で作られた「火きり杵」で神火をきり出すお祭りがあります。

出雲国造の代替わりのときに行われる「火継式」でも、熊野大社で起こされた火で調理された御食（みけ）をいただくことではじめて世継ぎがなされると考えられています。「火」は「霊（ひ）」と同一にみなされ、命の根源的な力とされています。

こうした歴史と伝統を受け、「水と火と人の輪」をテーマに「第 2 回 水と火の祭」を開催致しました。



出雲市古志町の神戸川太鼓の演奏



八雲なでしこ連の 17 名による松江だんだん踊り



周藤彌兵衛翁像の周りで遊ぶ子供たち

ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20160801.html>

ホームページにて写真資料・動画をご覧頂けます。

2016年8月 沖縄県渡嘉敷島訪問

沖縄県渡嘉敷島に訪問し、住民集団自決の現地北山、白玉之塔、国立沖縄青少年交流の家、集団自決跡地、辺野古基地前座り込み、嘉数高台公園を訪問し献花しました。



白玉之塔にて献花



集団自決跡地にて献花



辺野古基地前 座り込み

2016年11月 悠久の河シンポジウム

オーストリア・ウィーン在住のイップ常子さんをお招きし悠久の河シンポジウムを開催。また劇団幻影舞台による「朗読劇 悠久の河 周藤彌兵衛翁物語」を上演。
また交流会ではライス&ワイン・コミュニケーション文化の普及に島根県のワインとライスワイン（日本酒）を数種類用意。



シンポジウム講演者と協力者



朗読劇 悠久の河（劇団幻影舞台）



ウィーン在住のイップ常子さんを囲んで



ズットナー像とキルトで作られたゲルニカ

ホームページ参照

<http://www.hns.gr.jp/event/20161120.html>

ホームページにて写真資料・配布資料・映像をご覧頂けます。

2016 年 12 月 安重根裁判の不法性、再検討と北東平和 国際学会へ参加

朴槿恵（パク・クネ）大統領の崔順実ゲート事件による退陣発表があるなか、『安重根裁判の不法性、再検討と北東平和』国際学会に参加し、学会の最後には急遽、小松理事長が挨拶をしました。

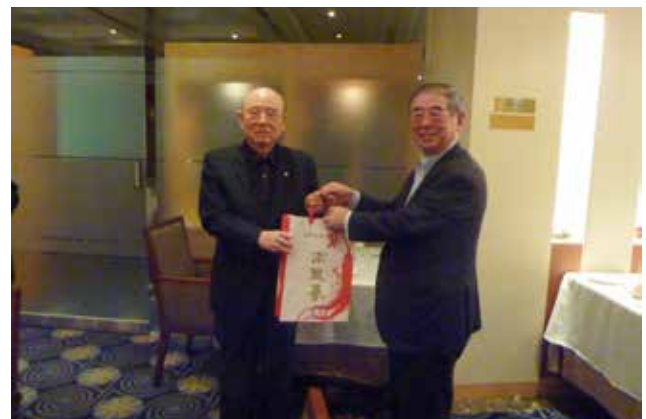
また、12 月 9 日に弾劾議案があり、ソウル市内では 100 万人のデモが毎日行われており可決後の 12 月 10 日には韓国全土から人々が集まり、デモが行われた。



安重根国際学会



安重根国際学会で挨拶をする小松理事長



安重根記念館館長と小松理事長



抗議集会、100 万人デモソウル市内



韓国団体

少女像 釜山にも設置

慰安婦問題 日本政府が撤去要求

【釜山共同＝栗倉義勝】の市民団体が従軍慰安婦被害を象徴する少女像を設置
韓国南部・釜山の日本総領事館前の歩道で30日、地元した。釜山市東区は28日に

同団体が設置を試みた際は「不法設置物だ」として強制撤去したが、市民から抗議が殺到、設置黙認に転じた。杉山晋輔外務事務次官は30日、李俊揆駐日韓国大使に対し「極めて遺憾だ」と抗議し、撤去を要求した。

(2面に関連記事)

日本政府は韓国政府や釜山市、道路を管理する東区に設置を認めないよう求め、韓国政府も東区に同様の要求をしていた。朴槿恵大統領が親友の国政介入疑惑を巡り弾劾訴追され、政

韓国・釜山の日本総領事館前の歩道に従軍慰安婦被害を象徴する少女像を設置し、記者会見する市民団体のメンバーら。30日(共同)



権の抑えが効かなくなっていることが浮き彫りとなり、問題の長期化は必至だ。日本政府は慰安婦問題の

最終解決をうたった昨年12月の日韓合意に基づき、ソウルの日本大使館前の少女像撤去を求めてきたが、めどが立たないまま両国は新たな懸案を抱えることになった。

聯合ニュースによると、東区の朴三碩区長は30日午前記者会見を開き、「自治体の長としてこれ以上(設置反対の立場を)保つことは難しい」と話した。28日に区職員や警官が市民団体のメンバーらを強制排除したことについても謝罪した。

東区庁には28日以降、撤去への抗議電話が殺到。区のウェブサイトも接続が一時困難になっていた。市民団体は会見直後に区から少女像を返還され、総領事館前に移動。「国民の勝利だ」となどと氣勢を上げた。

日本政府は2011年12月に設置されたソウルの大使館前の少女像について、公館の品位の保護に関する国際条約に反するとして撤去を要求。韓国側は昨年12月の日韓合意の際、「適切な解決」への努力を約束した。

駐韓大使に一時帰国指示

少女像で対抗措置

政府

安倍政権は6日、韓国・釜山の日本総領事館前に慰安婦被害を象徴する少女像が設置されたことを受け、長瀬安政・駐韓大使を一時帰国させる対抗措置を決定した。来週中に韓国させる方針だ。慰安婦問題に関する日韓合意の誠実な履行に反すると判断した。韓国への融和路線を転換し、外交的に強硬策を取る構えだ。慰安婦問題の「最終的かつ不可逆的な解決」を申し合わせた2015年末の日韓合意を堅持し、履行を強く求める。

慰安婦合意の履行要求



韓国・釜山の日本総領事館前に設置された少女像に黙とうする女性たち。6日（聯合・共同）

（2、3面に関連記事）

菅義偉官房長官が記者会見で対抗措置を発表した。少女像設置に「日韓関係に好ましくない影響を与える。領事機関の威厳などを侵害する。極めて遺憾だ」と批判した。政府は12年8月に当時の李明博大統領が竹島（島根県隠岐の島町、韓国名・独島）に上陸した後、駐韓大使を一時帰国させている。

韓国の尹炳世外相は長瀬氏をソウルの外務省に呼び、遺憾の意を伝えた。韓国側の対応を待つ姿勢だった日本側の対抗策を受け、日韓関係が新たな局面に移る可能性も出てきた。政府は金融危機時にドル

などを融通し合う「通貨交換（スワップ）協定」の再開に向けた協議も中断する。ほかに①森本康敬・釜山総領事の一時帰国②領事館職員による釜山市関連行事への参加見合わせ③日韓の経済協力を次官級で話し合う「日韓ハイレベル経済協議」

対抗措置ポイント

韓国・釜山の日本総領事館前の慰安婦被害を象徴する少女像設置に対する日本政府の対抗措置は次の通り。

一、長瀬安政駐韓大使、森本康敬釜山総領事の一時帰国。

一、金融危機時にドルを融通し合う「通貨交換（スワップ）協定」の再開に向けた協議を中断。

一、経済協力を次官級で話し合う「日韓ハイレベル経済協議」の延期。

一、釜山総領事館職員による釜山市関連行事への参加見合わせ。

ホームページ
http://www.sanin-chuo.co.jp/
購読お申し込み
0120-49-2550
受付時間
午前9時30分～
午後5時30分
（日曜、夜日、年末年始除く）

岸田文雄外相は11日に欧州訪問から帰国後、長瀬氏から情勢報告を受け、首相の意向も踏まえ対韓外交方針を決めていく見通しだ。

政府、少女像で強硬姿勢

日韓合意に暗雲も

＜解説＞

【ソウル共同＝栗倉義勝】日本政府が韓国・釜山の日本総領事館前で少女像設置に對抗し駐韓大使を一時帰国させるのは、2015年の慰安婦問題に関する日韓合意の後退は許さないとの強い姿勢を見せる目的がある。

（一面参照）

だが、朴槿恵大統領の職（国当局者）として短期間に異務が停止された現政権には、像設置を巡る動きを解決する政治力はない上、次期大統領選の過程で合意への異議を唱える声が強まると予想され、事態打開は見通せない。大使召還に次ぐ強い外交的な対抗措置を取ったことで日本政府の対応の幅も狭まり、日韓関係の悪化は避けられない情勢だ。

野党側有力候補、文在寅氏は「韓国政府は（合意で）民間の像設置まで阻止すると約束したのか」と、朴政権の外交批判に結び付ける。こうした主張に反対し、像撤去を口にするれば大統領選で逆風になるのは確実だ。保守陣営からの出馬をうかがう潘基文・前国連事務総長は1年前には合意を評価する姿勢を見せたが、今週の帰国後もこうした姿勢を打ち出すのは難しい雰囲気が強まっている。

韓国与党「政治利用」と首相批判

釜山の像設置は朴氏の退陣要求運動に「便乗」（韓

【ソウル共同】韓国与党セヌリ党の報道担当者は8

日、安倍晋三首相が釜山の日本総領事館前の従軍慰安

最近の日韓関係の動き

- 2015年 ▶ 日韓国交正常化50年、安倍晋三首相と朴槿恵大統領がそれぞれ東京、ソウルの記念式典に出席
- 8月14日 ▶ 安倍氏が戦後70年談話を発表
- 15日 ▶ 朴氏が「光復節」演説で70年談話に言及、残念な部分もあるとしつつ一定の評価
- 11月2日 ▶ 両首脳がソウルで初会談。慰安婦問題の早期妥結で一致
- 12月28日 ▶ 岸田文雄外相と韓国の尹炳世外相がソウルで会談。慰安婦問題の「最終解決」で合意
- 16年 ▶ 安倍氏が少女像の扱いについて「移転されると理解している」と国会答弁
- 1月12日 ▶ 両首脳が米ワシントンで日韓合意後の初会談。合意の着実履行を確認
- 3月31日 ▶ 韓国で「和解・癒やし財団」発足
- 7月28日 ▶ 日本政府が10億円拠出を閣議決定し、財団から元慰安婦に現金を支払う事業内容を発表。岸田氏は尹氏と会い、少女像撤去へ努力要請
- 8月24日 ▶ 両政府が軍事情報包括保護協定（GSOMIA）締結
- 11月23日 ▶ 朴氏が親友の国政介入疑惑を受けて辞意表明
- 29日 ▶ 韓国・釜山の日本総領事館前に市民団体が少女像を設置
- 12月30日 ▶ 日本政府が駐韓大使を一時帰国させる対抗措置を発表
- 17年 ▶ 安倍氏がNHK番組で釜山の少女像撤去を求める意向表明
- 1月6日
- 8日



WA-JO
IZUMO

The radiant beauty of the world
Compels my inmost soul to free God-given powers of my nature
That they may soar into the cosmos,
To take wing from my Self And trustingly to seek myself
In cosmic light and cosmic warmth.

和 讓